





あ お父様!

…勉強はしっかり
やってるようだな
流石七瀬先生だ

そうか
いつの間にか外が
まるで嵐のようだね

一人で帰らせるのは
少し心配だうちに
泊まっていきなさい

おい勝手に
入ってくるなよ親父…

ああ…
ノックはしたんだが…

いえ そんな
醫くんが頑張ってる
だけですから

……

それはなににより
いい大学に
入ってくれよ

七瀬先生はこれから
何か用事はあるのかな?

え? でもそれは
ご迷惑では…

まあまあ醫くんっ
お父さんなんだし…

いえ 特には…

そんなことないよ!

危ないしここに
泊まっていきなよ!
ね?

それもそうね…

じゃあ お言葉に
甘えさせてもらいます

いやいや
いつも世話に
なっているのは
こっちだ

それじゃあ
家政婦にも
そう伝えておくよ



あのごく

あの...ここにバジヤマおいておくね家政婦さんが置いていったやつだけど...

あの!

その...なんでもない! ゆっくりしていいってね!

...

アアア

ぽ

キョッ

アア

ア

ぽ

ぽ

涼子さんの
おっぱい…

涼子さんが
うちにお泊りか…
ぐふふふっ

おおまんっ

おしひ…

すごく綺麗
なんだろっな…
どうやって洗うんだろっ

今までみんな
俺の事を気持ち悪がって
誰も優しく接しては
くれなかった…

でも涼子さん
俺にすごく
優しいっ…

もしかして
まんぢんぢや
ないのぢや…

こんな事考えてるのが
バシたら
絶対嫌われる…!

ああああ!!

ふうく
さっぱりさっぱり

馨くん起きてる？
私もう寝るね

うっうんっ

隣の部屋
寝られるように
しておいたから…

ありがとう

それじゃあ
おやすみなさいっ

涼子さん…
やっぱり好きだ…

馨くん…
大好き…

なぐんて！

そっだ
涼子さんだって
俺のこと…

それでそれで
こっそり夜這いなんて
されちゃったりして!?

あてもっ涼子さん清楚だし
純粹っほいからなあ

お俺から
いくかあ…!?

いやいやいやいや!
そんなの無理
だろおおおお!!



本当に七瀬先生には
感謝してもしきれないよ

いえそんな…

謙遜しなくてもいい

学校では
まともな成績じゃ
なかったんだ

そして浪人にも失敗して
ひきこもりときたもんだ

我が息子ながら
情けない…

母親が死ぬまでは…
そこまでは
なかったんだがな

私は自分の仕事を
頑張らせてもらってる
だけですから…

そんなことより…



ふんっ

ニ…

せつかく
なんですから…

は

は

は

今日はいつもとよりたくさん
可愛がってください
真司さん

生真面目な
人間だと思ったら…
とんだ雌豚だったみたいだな

どろ

そんなあ…真司さんが
そうしたんじゃないですかあ

は

み

…雌豚なのは
否定しませんが

は

初めてここに派遣
されてきたときは

非常に優秀な
家庭教師と聞いて
純粋な生娘だとばかり
思っていたが

その通りですよ

でも真司さんが
私が真司さんに
一目惚れしたことに
付け込んで

私のこと
めちやくちやに
したんじゃない
ですかあ

そうだったか？

私はただ君の気持ちに
応えただけだ

こんな格好で
抱かれに来るような
淫乱にした覚えはないな

そんなあ

君が生まれながらの
変態だったただけのことだ



まあいい

望み通りしつかり
可愛がってやる 涼子!

おいおい
大声を出すなよ
響に聞かれても
いいのか?

こんな嵐では外に
聞こえせんがな

はあ...はえええっ

誰が倒れていいと
いった!?

ほおおお
おおうっ!!



これはお仕置きが
必要だな

窓に手をつくんだ

おほおほおほ
おほおほおほ

クリトリスに振動が
ビリビリくるっ

んひゃああ
ああああ

ははははっ
酷い乱れようだ

へあああっ!!

おまんこちゅぶしちや
らめえっ!!

だがまだまだ
これからだぞ?



こんな女に
大事な息子を任せて
いいものか…

そんなこと
言わないでえ

がんばって…
頑張ってるのにっ

ほう…

ぽっ

ぽっ

ぽっ

んっ

ニイ



頑張るとは…
このいやらしい身体で
息子に発破でも
かけたのか？

この身体で誘惑すれば
あのダメ息子も
更正すると
いうことか…？

この売女が！

んああああっ

そんなこと…
あんっ

んっ

んっ

んっ

ぽっ

んっ

んっ

んっ



おいおい…
仮にも私の息子に
ひどい言いよう
じゃないか



そんなこと
しないでさう

私の身体は真司さん
だけのもの
なんですからあ！

あんな男に
見られたくも
ない…！



ごこめんなさい…！



でもでもお
もう私の身体は
真司さんのおちんぼ
奴隷だからあ

はぁ…♡♡

真司さんのおちんぼのために
頑張ってお仕事
しちゃうんですう！

しゅごい！
雌豚ガバマンなのに
カリ高ちんほで
かきわけられてるううう！

ぬう…
膣中が完全に
蕩けきっている

はいいつ
真司さん 真司さんの
おちんぼ
だいしゅきだからあ！

ずっとおちんぼ
ハメハメしてほしくて
だらしなくおまんこ
蕩けちゃうのお！

だからもっと！
私にもっと
真司さんをくださあい！

きもちいいいい
おちんぼズボズボしてえ！

あんっ
キスきしゅしゅきいっ
真司さんの舌おいひいっ

おまんこホジホジしまくってえ！



変態マンロクンズ
~~~~~

イッ  
~~~~~



だが夜はまだまだ
これからだぞ？

はあ…はあ…

ははははっ
盛大にイッたな

ぶあーい



ブッブ

うん 自信持って
絶対合格するから

そそうかな

よしばつちりだね
これならもう
合格間違いなしだよ!

合格したら
私の仕事も終わりだね

……
涼子さん!

もしもし合格できたら…
一つ話を聞いて
欲しいんですけど

いいですか?

…ええ もちろん…

END